

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ぶらすA 杵築事業所		令和8年 2月 24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	7	1	部屋数は少ないが、廊下や倉庫などを有効利用している。	クールダウンスペースをカーテンやテントで準備したが、有効活用できなかった。
	2	8		配置基準より多くの職員を配置している。	
	3	8		マットを敷いて活動する事もある。座る場所、机の座席に名前シールを貼ったり、一日の流れを掲示し、見通しを持たせている。	
	4	8		活動によっては、ホールを仕切ったり、学習室を使用する等、工夫している。	部屋数は少ない。
	5	8		クールダウン時には、学習室や倉庫を利用し、適宜一人になれる空間を提供している。	個別対応が難しいと感じることもある。
業務改善	6	8		児童指導員や専門職の意見を反映させている。	
	7	8		集計結果を活かした次年度の年間計画を立てている。日頃の支援に関しても職員同士で検討し、業務改善に努めている。	
	8	8		1 on 1 ミーティングを相談支援専門員の方に頼んで、不定期で開催し、風通しの良い職場作りに努めている。	
	9	3	5	相談支援専門員が事業所の委員会や研修に参加し助言をもらい、業務改善に努めている。	第三者委員会の設立はしていない。
	10	8		月に1回、法人研修を月曜に開催している。今年は、外部講師の方にも研修を実施してもらった。外部の研修にも参加している。	
適切な支援の提	11	8		支援プログラムを作成、公表している。事業所の玄関先にも掲示している。	
	12	8		ニーズや課題が変わった時には、半年を待たずに、計画を見直す事もある。	
	13	8		子どもの最善の利益を考慮した検討を行うよう心掛けている。	
	14	8		個別支援計画は共有し、その都度、支援に関しても助言している。	
	15	8		運動教室などを取り入れ、行動観察や評価が活動内のできるよう工夫している。	
	16	8		保護者の方にも伝わるよう、専門用語を避け、言葉を選びつつ、具体的な支援内容を設定するよう心掛けている。	
	17	8		多職種の職員の意見を取り入れている。	月案、週案を作成する日に出勤している職員で話し合う事が多い。
	18	8		季節やその月によって、イベントや行事を企画している。長期休みには、課外活動を計画することもある。	子どもたちが参加しやすい活動に偏ってしまう事がある。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		子どもの状況に応じて活動を工夫している。その子の特性や困りに応じて、計画も作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		活動前に、役割分担をし、ロープレをしてみ、動きを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		次の日の朝礼時に、共有する事が多い。	パート職員などは、その日に共有できないこともある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の支援記録は残し、支援の見直しや改善に努めている。目標に対して、どんな支援をしたか記録を残すようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		最低でも、半年に1回はモニタリングを行い、計画の見直しをしている。モニタリングに指導員が参加する事もある。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		月案、週案で計画を立てて、組み合わせるようにしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	8		お買物ごっこや活動の話し合いなど、自己選択できるような活動を取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者が主に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		サービス担当者会議などで情報共有を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		お迎え時に、学校の先生にもしっかり連絡して下さるよう伝えている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		サービス担当者会議などで情報共有を図っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	今まで、そのようなケースはなかったが、進学したケースはあった。今後、そのようなケースがあった際には、情報提供をする。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	療育に通っている方からは、リハビリの計画書などは、参考にさせてもらっている。	地域の児童発達支援センターと関わる機会がほぼない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	山香の事業所の児童とは、年に数回一緒に活動している。（地震体験車、公園遊びなど）	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		年に数回ある市のこども支援部会には積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時や連絡帳で日頃からこどもの様子をお伝えしたり、確認している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	保護者の方に対しては、家庭でできる事などは、相談援助している。	参加型の研修などは、特に機会を活かす情報提供はしていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時や契約変更時に、説明はしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		小学校高学年の児童さんには、会議に参加してもらった事もある。こどもや家族の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		個別支援計画の説明をしたのちに、署名を頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		送迎時にお聞きする事もあるが、事業所に来所して、面談で相談援助に乗る事もある。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		年1回は、引き渡し訓練後、保護者参観を実施している。	父母の会は設立していない。きょうだい同士で交流する機会は設けられていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		相談や申し入れがあった際には、情報共有し、適切に対応するようにし、再発防止に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		月の行事予定等は、プリントを配布している。HPも今月完成した為、有効活用していく。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の取り扱いには、十分に留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		こども同士のトラブルがあった時などには、名前（個人情報）は伏せて、事実だけを伝える等、配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	地域の会社の方に来所して頂き、ワークショップを開催した。地域行事（お接待、スタンプラリーなど）にも参加した。	地域住民の招待までには、至っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルを策定している。訓練を実施した日には、連絡帳で保護者にもお伝えしている。	マニュアルは保護者の方には、周知できていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPを策定し、自然災害、感染症とともに、今年度訓練を実施した。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時や引き渡しカードに記入して頂いている。服薬変更時にも、確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	保護者の方からアレルギーの情報を確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画に沿って、研修や訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		安全計画に沿って、実施した訓練内容を明記したプリントを年に1回配布している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットを記入したのち、情報共有をし、再発防止策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年2回、事業所内で研修をしている。県や外部の研修にも参加し、その後、伝達研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		計画書に分かりやすく記載した上で、保護者の方にも事前に十分に説明している。		